

医薬品情報

2014. 3. 13 No. 386

独立行政法人国立病院機構 盛岡病院 薬剤科

1. ハンプ注射用1000の「用法・用量」及び「使用上の注意」の一部改訂について

今般、ハンプ注射用1000の「用法・用量」及び「使用上の注意」が一部改訂され、**注射用水による溶解液量が1バイアル当たり10mLから5mLへと貯法が10℃以下保存から室温保存へ**下記のとおりそれぞれ変更となりましたので、ご確認くださいませようお願いいたします。

	本 剤	従来品
製品写真		
日本薬局方注射用水の溶解液量	5mL	10mL
調製時にご注意いただきたい点	配合変化試験の条件下では、日本薬局方生理食塩液での直接溶解による塩析は認められていませんが、 調製時は【用法・用量】に従い、日本薬局方生理食塩液での直接溶解は避けてください。	日本薬局方生理食塩液での直接溶解により、塩析が確認されているので、日本薬局方生理食塩液での直接溶解は行わないでください。
貯法	室温保存	10℃以下保存